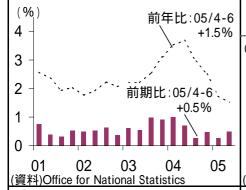
英国経済指標の推移(2005年10月)

成長率

統計改訂により、4-6月期の成長率(前 年比)が12年ぶりの低さに。



成長率(内訳)

4-6月期は外需と民間投資が成長の 牽引役に。

	(前期比寄与度:%ポイント)	
	05/1-3	/4-6
	00/1-3	/4-0
GDP	+0.3%	+0.5%
民間消費	+0.1%	+0.2%
民間投資	0.2%	+0.4%
政府支出	+0.3%	0.1%
在庫投資	+0.1%	0.7%
純 輸 出	+0.1%	+0.6%

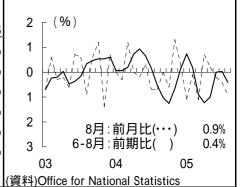
鉱工業生産

住宅価格上昇率

₋ (%)

住宅価格の上昇ペースが鈍化。 ただし、底打ちの気配も。

8月の生産は特殊要因の影響から、 大幅減。製造業も5か月ぶりに減少。



前年比:9月

ネーションワイト 指数(・・・) +1.8%

ハリファクス指数()+3.0%

04

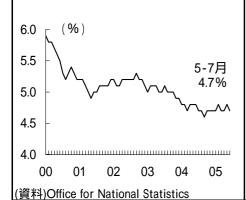
05

(資料)Office for National Statistics

失業率(ILOペース)

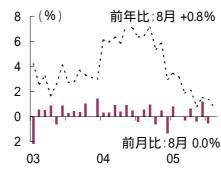
歴史的低水準で推移。

インフレ率(CPI)



消費(小売数量)

消費は弱含み基調のなか一進一退。



5 0

40

35

30

25

20

15

10

(資料)Nationwide,Halifax

02

成長率予測(2005-2006年) 05年成長率予測の下方修正が続く。 IMFは成長率2%割れを予測。

03

2.0%超で推移。原油価格上昇の影響。				
2.5	۲(%			/
2.0			府目標(2 	2.0%)
1.5		\wedge	~~ ^	
1.0	+\/	J	V	V
0.5	V			〕年比∶8月 2.4%
0.0	سسبا		шшшш	шшшшш
	02	03	04	05

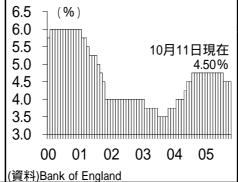
7~8月のCPI伸び率は、政府目標である

0/ 切示状纹 医油压板 L 目 の影鄉

以東 金利	(レ水・	レー	۲)
イングランド銀行	FI#. 8	月4F	7

資料)Office for National Statistics

銀行は、8月4日、2年1か月ぶり の利下げを実施。



2003 + (2000 +)				
民間平均	2.0%(2.3%)	8/05集計		
OECD	2.4%(2.4%)	5/05公表		
欧州委	2.8%(2.8%)	4/05公表		
IMF	1.9%(2.2%)	9/05公表		
政府	3.0-3.5%	3/05公表		
	(2.5-3.0%)			

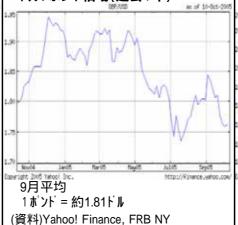
2005年(2006年)

ユーロ/ポンド相場(過去1年)

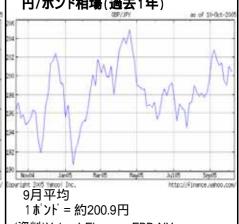
(資料)Office for National Statistics



ドル/ポンド相場(過去1年)



円/ポンド相場(過去1年)



(資料)Yahoo! Finance, FRB NY